

6次産業化調査特別委員会会議録

令和3年9月8日（火）

午後1時30分 開会

○小出義一委員長

ただいまから、6次産業化調査特別委員会を開会します。

協議第1、調査事項についてを行います。

（1）委員会の方向性についてを行います。

前回の委員会において、この委員会の方向性については、「6次産業化の視点により地域産業の新たな可能性を見出すこと」としましたが、少し言葉足らずの所がありましたので、本日は、最初に、この委員会の方向性について、委員の皆さんと意識共有をしたいと思います。

この6次産業化調査特別委員会の設置目的は、議場で議決した通り、「6次産業化を進めるための調査研究について」です。6次産業化とは、農林水産省の定義では、『1次産業の農林業業者が農産物などの生産物の元々持っている価値をさらに高め、それにより、農林漁業者の所得を向上していくこと。』とされています。そのため、『生産物の価値を上げるため、農林漁業者が、農畜産物・水産物の生産だけでなく、2次産業の食品加工、3次産業の流通・販売にも取組み、それによって農林水産業を活性化させ、農林漁村の経済を豊かにしていこうとするもの』と定義されています。

このことからすれば、この特別委員会の調査は、生産者自らが2次産業、3次産業まで取組むことを調査することとなりますが、私としては、生産者と違う業者であっても連携してネットワークを組めば同様の効果が出ると考え、6次産業化の視点に立って調査研究したいと伝えさせていただきました。ただし、これは本来の国の定義とは異なりますので、この特別委員会がどちらの範囲で調査研究していくかを委員の皆さんにご意見を伺い、決定していきたいと思います。

暫く休憩します。

午後1時36分 休憩

午後2時40分 再開

○小出義一委員長

委員会を再開します。

休憩中に委員会の方向性について皆さんの考えを聞かせていただきました。6次産業化は国の定義にありますように1次産業の生産者が2次産業、3次産業と多角的に事業を進める中で経営を安定化させていく所にありますので、この趣旨に基づいて、6次産業化を目指すために色々な角度から調査研究を行っていくこととします。このことについてご意見はありますか。

【「なし」との声あり。】

暫く休憩します。

午後 2 時 4 1 分 休憩

午後 2 時 5 0 分 再開

○小出義一委員長

委員会を再開します。

次に、(2) 市内農業の特徴についてを行います。

市内農業の特徴について少し調べることで半田市の課題が見えてくるのではと考え事前調査を行いましたので、そのことについて資料 1 のとおり報告します。併せて、市内新規就農者の 6 次産業化への意向調査結果と愛知県内の農業の現状について資料が経済課より提出いただきましたので参考にしてください。

暫く休憩します。

午後 2 時 5 1 分 休憩

午後 3 時 1 0 分 再開

○小出義一委員長

委員会を再開します。

事前調査資料などを基に、半田市の概略が分かったと思います。6 次産業化を進めるうえでの半田市の課題と市内農業の現地調査についてどの様な所へ出向くべきかをご検討いただきたいと思いますが、次回の委員会までにご提出いただくということでよろしいでしょうか。

【「はい」との声あり。】

○小出義一委員長

次に、(3) 「研修会について」を行います。

愛知県食育消費流通課の担当者を招いて愛知県が策定した愛知県 6 次産業化推進戦略についての研修会を開催し、愛知県が目指す 6 次産業化について学びたいと思いますが、このことについてご意見がありましたらお願いします。

【「なし」との声あり。】

○小出義一委員長

では、日程については、愛知県の担当者と調整を行い、お知らせしますのでよろしくお願いします。
次に、（４）その他ついてを行います。
他に何かある方はいらっしゃいますか。

【「なし」との声あり。】

○小出義一委員長

ないようですので、以上で、6次産業化調査特別委員会を閉会します。
お疲れ様でした。

午後 3 時 20 分 閉会